

大陸文化の受容

4 5 世 紀	<p>【渡来人】〔図表P.45③〕〈5世紀〉</p> <p>1 <u>王仁</u> …子孫は西文氏(大和政権で文筆・出納担当)を名のる。百済系。 『論語』(儒教の教典)・『千字文』(習字の教科書)を伝えたという。</p> <p>2 <u>阿知使主</u> …子孫は東漢氏(大和政権で文筆を担当)を名のる。百済系?</p> <p>3 <u>弓月君</u> …子孫は秦氏(大和政権で養蚕・機織担当)を名のる。百済系。 ※彼らに代表される渡来人はヤマト政権のもとで奉仕する技能者集団(「部」)に編成された。</p> <p>【技能者集団の例】</p> <p>*銅・鉄製品の鍛造担当→4 <u>韓鍛冶部</u></p> <p>*錦(高級絹織物)作り担当→<u>錦織部</u></p> <p>*須恵器(朝鮮伝来の技術による硬質の土器)作り担当→5 <u>陶作部</u>(<u>陶部</u>)</p> <p>*漢字を用いた記録・外交文書作成担当→<u>史部</u></p> <p>【文化】</p> <p>〔漢字の使用例〕〔図表P.46〕</p> <p>*6 <u>石上神宮七支刀</u> …4世紀に百済王から伝えられたという。最古の金石文。</p> <p>*稻荷山古墳出土鉄剣(既出)</p> <p>*江田船山古墳出土鉄刀(既出)</p> <p>*和歌山県7 <u>隅田八幡神社</u> 蔵の人物画像鏡</p>
	<p>【儒教の本格的伝来】</p> <p>※儒教とは紀元前6～5世紀の中国の思想家・孔子が唱えた道徳・教理を体系化したもの。</p> <p>Q1. 儒教を伝えた人々は総称して何とよばれるか。 A1. <u>五経博士</u></p> <p>Q2. かれらはどこの国から渡来した人々か? A2. <u>百済</u></p> <p>※6世紀には医・易・曆博士も来日。</p> <p>【仏教の公伝】〔P.28①〕</p> <p>Q3. 誰が誰に伝えたのか?</p> <p>A3. 百済の <u>聖明王</u>(<u>聖王</u>) から <u>欽明</u> 天皇に仏像・経典が伝えられる。</p> <p>Q4. 伝えられた年には2つの説がある。それぞれの説と、その根拠となった書物は何か?</p> <p>A4. (1) 538年(戊午説) ↳『上宮聖徳法王帝説』(聖徳太子の伝記)、『元興寺縁起』</p> <p>A4. (2) 552年(壬申説) ←『日本書紀』</p>

◇ 先進技術(文字を書けることからして先進技術でした)を身につけた渡来人を、ヤマト政権はじめ各豪族は多く採用しました。西文氏、東漢氏、秦氏といったのちにヤマト政権を支えることになる各豪族の祖とされる人物たちは、実在というよりもシンボリック的存在という側面が強いかもしれません。

◇ 韓鍛冶部や錦織部の「部」は、大王家や豪族に仕えた職能集団を表します。その意味では、「サッカーを行う集団=サッカー部」や「演劇を創造する集団=演劇部」の「部」と同様と言えるでしょう。

◇ 仏教が伝わったとき、これを受け入れるか排除するかで有力豪族間に争いが発生したとされます。その争いに関してはNo.9で扱います。

◇ 「ガイド」でも書きましたが、古墳時代の文化については図表P.48に何度も目を通して「古墳時代から」のイメージを頭に焼きつけましょう。

◇ 原始・古代より日本文化には「穢れ」の意識が存在したようです。生きていくうちに人には何らかの理由(死・病・血・罪などが原因とされます)で穢れが身についていくので、それを落として清浄な状態に戻る必要がある、という考えです。

神話の世界で日本を創造した神としてイザナギ、イザナミの夫婦が登場します。死んでしまったイザナミをあの世(黄泉の国)から連れ帰るために迎えに行った夫のイザナギは、逆に変わり果てた妻に追いかけてこの世に何とか逃げ帰ってきます。そのあとでイザナギが行った行為が、死後の世界で身についた穢れを水で注ぎ落とすことでした。このときに天照大神などの神が生まれるのですが、このあたりの事情は自分で調べてください。

その穢れを水を使って落とすのが「禊」、その他の方法(大麻(大幣) = 神主さんが頭の上で振るってくれるあれ)で落とすのが「祓」です。